

静岡県富士市

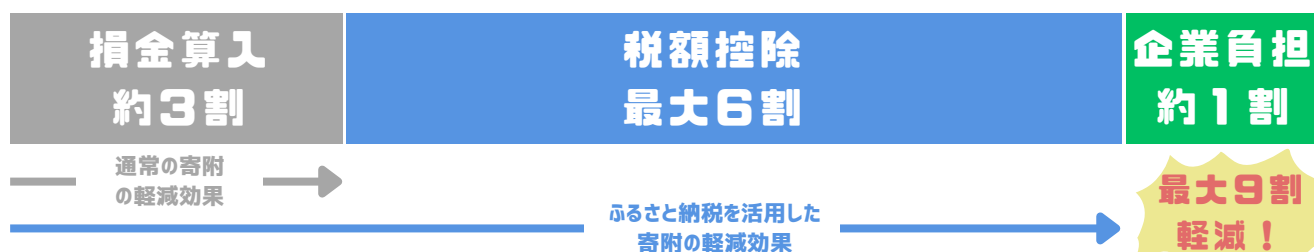
企業版ふるさと納税

ご案内

企業版ふるさと納税とは

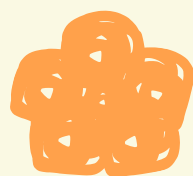
企業版ふるさと納税は、国が認定した地方自治体の地方創生にかかる取組みに対して、企業が寄附という形で応援した場合、最大9割の税制上の優遇措置が受けられる制度です。

寄附額



※制度の詳細は、内閣府「企業版ふるさと納税ポータルサイト」をご確認ください。

URL https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyoy_furusato.html



寄附額の最大約9割の税軽減効果を活用しながら
地方創生を応援することで・・・

SDGsの推進

自治体との
パートナーシップ
の構築

地域への貢献

など、企業のPR、CSRや新たな事業展開につながります



1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。

富士市に本社が所在する企業からの寄附については、本制度の対象外です。

寄附の代償として、市から経済的な利益を受けることは禁止されています。

寄附の対象となる事業

「富士市デジタル田園都市総合戦略」に位置付けた、まちの魅力を高め、地域産業の活性化と暮らしの充実を図るための様々な地方創生活活用事業が寄附の対象となります。

1

災害への対策を強化し、安全・安心なまちづくり

南海トラフ巨大地震や豪雨などの自然災害に対する安全・安心の確保は、市民や企業が本市で活躍するための根幹となります。

このため、自然災害への対策強化をはじめ、防犯まちづくり体制の強化や地域医療体制の充実などを図り、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

イチオシ事業

▶ 元気と快適を「届ける」「備える」 ～みんな元気になるトイレ～

災害発生時のトイレ問題は、災害関連死につながるおそれもあることから、安全・安心できるトイレ環境の提供や確保に努めています。



▶ 新病院建設事業

多様化する医療ニーズに十分対応できるよう、高度医療の強化や救急医療の更なる充実が求められている中、富士市立中央病院は築41年を経過し、建替えの時期を迎えているため、新病院建設を進めています。



▶ ラピッド・ドクターカー導入

ラピッド・ドクターカーとは、医師が救急現場に向かうための緊急自動車です。患者にいち早く適切な治療を提供することができ、救命率の向上が見込めるとともに、医師が搬送先の決定に関与することで限られた医療資源を効率的に活用できることから、導入を進めています。



2

活力ある産業を集積し、やりがいを感じるしごとづくり

生活基盤を安定させ、暮らしを充実させるためには、多様な仕事や雇用機会を創出し、個々のライフスタイルに合った就労を支援する必要があります。

このため、産業の集積、雇用機会の拡大を図るとともに、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランスの実現など、やりがいをもって仕事ができる環境の創出を推進します。

イチオシ事業

▶ 富士のお茶の振興と新たな特産品創出事業

市場価格の低迷等により事業継続が厳しい茶産業の状況を打開するため、市外及び海外へのPRを強化するなど「富士市のお茶」のブランド価値を高めていきます。また、採算性が低い茶園を転換し、消費者の需要に応じた新たな特産品を創出していきます。





結婚・出産・子育て等の希望を実現できる社会づくり

若い世代における未婚率の増加や出生率の低下は、経済的負担感や生活の変化への不安等の要因が複雑に絡み合っていることから、結婚・出産・子育ての希望を実現できる社会環境を整える必要があります。

このため、結婚・妊娠・出産・子育てに至る切れ目のない支援や、教育環境の充実に向けた取組を推進します。

イチオン事業

▶ 複合型子育て拠点「みらいてらす」子連れコワーキング推進事業

複合型子育て拠点「みらいてらす」の活用し、子どもを連れたコワーキングを推進するなど、多様な働き方の選択肢の普及促進を図ることにより、子育てしながら希望通りに就労できる環境を整備していきます。



▶ こどもの居場所づくり推進事業

誰一人取り残さずに子どもを支えるまちの実現に向けて、こどもの主体性を大切にしながら多様な学びや遊び、体験活動や交流活動、安心して過ごすことのできる多様なこどもの居場所づくりに取り組んでいます。



▶ 高等教育機関連携事業

高等教育機関は、若い世代の人口確保だけでなく、地域社会における知識基盤を支える上で重要な存在であることから誘致を進めています。その過程において、大学等のフィールドワークを積極的に受け入れ、連携を深めています。



地域と拠点がつながり、快適に暮らせる環境づくり

安心して住み続けたいと思うまちを実現するためには、都市機能の充実や日常生活におけるサービス機能を維持・確保する必要があります。

このため、生活に必要な施設を公共交通の結節点がある拠点に集約配置し、これらの拠点と各地域が連携し、暮らしの質の維持やまちなかにおけるにぎわい空間の創出を図ります。

イチオン事業

▶ ふじ健康ポイント事業

本市は、男女ともに「メタボリックシンドローム該当者」「高血圧病有病者」等が県平均と比較して高い状況にあり、特に「肥満該当者」は年々上昇傾向にあります。健康寿命の延伸や医療費抑制の観点から、特に壮中年層に対し、健康づくりへの関心を高めるため、スマートフォンアプリを活用した健康づくりポイント事業を実施します。



▶ 富士駅北口再整備プロジェクト

JR富士駅北口は、富士市の玄関口であり、商業の中心地として市の経済を牽引してきましたが、車社会の進展などにより来街者が減少していることから、再整備により活性化・再生を図り、その賑わいを周辺にも波及させていきます。





人を呼び込み、にぎわいと交流を生む魅力づくり

多様な人を呼び込み、地域を活性化していくためには、本市の特色などを活かし、まちの魅力を向上させるとともに、市内外に積極的に情報発信していく必要があります。このため、本市の地域資源の魅力をより一層高めるとともに、情報発信の強化のほか、国内外から人々が集まる機会の創出を図ります。

イチオン事業

▶ 田子の浦港活性化事業

田子の浦港ならではの景観資源である富士山と駿河湾の眺望を賑わいづくりに活用し、田子の浦港漁協食堂からふじのくに田子の浦みなと公園までを「プロムナードエリア」と位置付け、様々な取り組みを展開していきます。



▶ スイスとの水泳を通じた国際交流推進事業

東京2020オリンピックでの事前合宿誘致をきっかけに、スイス水泳連盟との関係が継続しており、ジュニアスイマーの総合交流を行うことで、国際感覚を培うとともに、スイスにおける富士市の認知度向上を図り、インバウンド獲得に繋げていきます。



▶ 自転車活用推進事業

自転車は、環境に優しい乗り物であること、ゆっくりと観光できることなどから、新しい観光スタイルとして注目されています。市民や観光客など多くの人が自転車を利用することで「観て楽しむ」「乗って楽しむ」魅力的なまちを目指します。



その他、このような取組も寄附を募集しています

▶ SDGs 未来都市としての取組

官民パートナーシップの拡大を目的として「富士市共想・共創プラットフォーム」を構築し、SDGsの達成につながるプロジェクトを募集するなどの取組を進めています。

▶ デジタル変革に関する取組

デジタルの力で誰もが快適で活力に満ちた「質」や「価値」の高い生活を送ることができるまちを目指します。

▶ ゼロカーボンシティ宣言に関する取組

エネルギーの効率化だけでなく、防災・減災対応や暮らしの質の向上を図るため、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を進めます。



お問い合わせ

富士市総務部企画課



0545-55-2718



so-kikaku@div.city.fuji.shizuoka.jp